

《研究課題名》

添い寝・添え乳に起因する窒息死についての検討

《研究対象者》

2010年～2021年の過去11年間に滋賀県内で乳児期の窒息死にて法医解剖された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》

添い寝・添え乳に起因する窒息死についての検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2023年 ~~5月31日~~ 12月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 臨床看護学(母性・助産) 立岡 弓子

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

これまでの小児死亡に関する調査で、乳児の不慮の窒息死が散見され、その予防が喫緊の課題となっています。特に滋賀県では添い寝や添え乳に起因した死亡が毎年見られることから、その背景を詳細に分析することで乳児の不慮の窒息死の予防に寄与します。

《目的》

添い寝・添え乳に起因した乳児の窒息死に関する実態と問題点について、滋賀県内で過去に発生した窒息死剖検例から法医学・助産学の知見をもって検証します。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学社会医学講座法医学部門が保有している、過去の乳児期窒息死症例から得られた情報を分析します。

《利用する試料・情報の項目》

死亡時身長・体重、生育歴、基礎疾患/既往歴、家族構成、事故発生状況、睡眠環境、窒息を起こ

オプアウト

し得る要因

(具体的内容) 月齢、寝返りの可否、栄養方法、窒息の原因、布団の有無・種類、掛物の有無、児の枕使用の有無、就寝時の母児の体位、添い寝の有無、添え乳の有無、授乳姿勢、死亡時の乳房位置、腕枕の有無、発見時の腕枕の有無、発見時の母児の体位、排気の有無などの情報を収集します。

《試料・情報を利用する者の範囲》

研究責任者：滋賀医科大学 臨床看護学講座(母性・助産)教授 立岡弓子

分担研究者：滋賀医科大学 [看護学研究科ウイメンズヘルス看護学領域修士課程](#) [臨床看護学講座\(母性・助産\)](#) 客員助教 中野美夏

社会医学講座(法医学部門)教授 一杉正仁

研究協力者：社会医学講座(法医学部門)助教 中村磨美、 助教 高相真鈴

《試料・情報の管理について責任を有する者》

臨床看護学(母性・助産) 立岡 弓子

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は社会医学講座(法医学部門)内の施錠できる場所で共同研究者の一杉正仁によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 臨床看護学(母性・助産) 立岡 弓子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2433

オプアウト

メールアドレス : ytateoka@belle.shiga-med.ac.jp